

| | |
|---------------|---|
| 地方公共団体名 | 鹿児島県鹿児島市 |
| 所属部局 担当者名 | 環境局環境部環境政策課 担当：主査 有村 太一 環境局環境部再生可能エネルギー推進課 担当：主任 下野 翔大 |
| 地域の抱える 課題 | <p>【環境・脱炭素に関する課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市 CO₂ 排出量の主な排出源である化石エネルギーに由来する電力（約 34%）及び運輸部門（約 35%）からの排出量抑制策に取り組まなければならない。 ・再エネの最大限の導入に向けたハード・ソフト面での整備 <ハード面>ZEB 導入促進や省エネ機器の更新等 <ソフト面>PPA 導入促進を目的とした自治体新電力設立等 ・再エネ電力の効率的利用（太陽光発電設備の余剰電力の融通と活用） ・自動車燃料の使用抑制に向けた公共交通機関の利用促進及び電気自動車への転換など、ライフスタイルの脱炭素化。 ・市民や事業者の脱炭素に向けた意識醸成（ゼロカーボンシティかごしまの認知度が約 4 割） <p>【同時解決したい地域の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の電源確保 ・再生可能エネルギーの地産地消（桜島の火山災害及び風水害対策としたレジリエンス強化） ・渋滞解消（市街地の道路の混雑割合は全国ワースト 1 位） ・脱炭素型ライフスタイルの定着による健康増進及び地域経済の活性化（エンカル消費等環境ビジネスの促進） |
| 地域のありたい 未来 | <ul style="list-style-type: none"> ・ A I, I o T などの先端技術によるエネルギー利用や人の移動が最適化された「ゼロカーボンシティかごしま」の実現（イメージ図参照） <p>（レジリエンス強化も踏まえた中心市街地のスマートグリッド化、スマホアプリ等による脱炭素型ライフスタイルの定着）</p> |
| 事業の概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 中心市街地における公共施設、民間施設、一般家庭への PPA 普及、拡大 ・ PPA 設置施設を基点とした電力融通ネットワークの形成 ・ スマホアプリ等を活用した脱炭素型ライフスタイルの促進や移動の最適化 |

企業に求めたい
内容

- ・系統問題（出力制御の多発、接続可否の問題）がある九州地方においても、より安価な単価を実現できる PPA 手法（可能な限り、電気代の範囲内に収まる手法）
- ・PPA による設置での融通ネットワークシステムの構築可否（※まずは公共施設からだが、のちに民間まで拡大することを想定した構築）
- ・ゼロカーボンシティかごしまの認知度向上や移動の最適化など、市民の脱炭素型ライフスタイル定着に向けたスマホアプリ等の提案
- ・地域脱炭素事業に対する企業版ふるさと納税による支援

「ゼロカーボンシティかごしま」の実現（イメージ図）

